

# 令和4年度 事業者アンケート

(下期 景気動向調査報告書)

## 1.調査目的

本調査を毎年度内に2回に渡り実施することで、石垣市内における経済動向に関する実態を把握し、情報分析を行い、今後の効果的な経営支援策の必要な見極めと事業活動の目安や参考のための基礎資料とすることを目的としています。

## 2.調査時期

調査対象時期：令和4年10月～令和5年3月（下期）

## 3.調査対象企業及び回答状況

業種	項目	調査対象企業数	回答数	回答率 (%)
	全業種	118	66	56%
	小売業	15	8	53%
	サービス業 不動産業・飲食業 宿泊業・その他	74	40	54%
	卸売業	3	2	67%
	製造業	15	11	73%
	建設業	11	5	45%

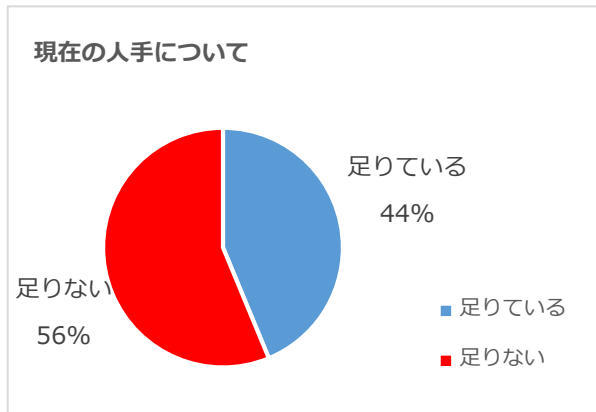
## 4.調査区分

商業関連 ①小売業 ②サービス業（不動産業・飲食業・ダイビング業・その他）

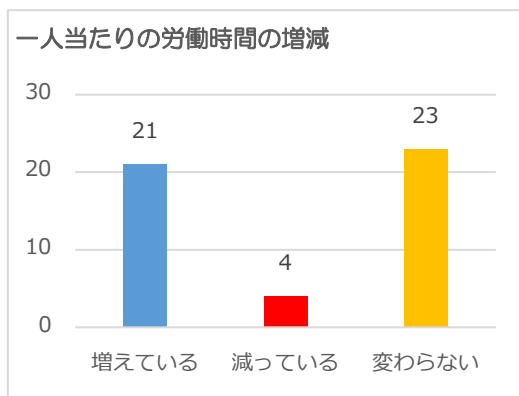
工業関連 ①卸売業 ②製造業 ③建設業

## 調査結果 【商業関連】

### ●人手について



### ●労働時間について (一人当たりの労働時間の増減)



『労働時間が増えている』という回答が一番多い要因としてあげられたのは、やはり人手不足により、ひとりひとりにかかる負担が増し、よって労働時間が増えているという事例もある

#### ●『労働時間が増えている』要因

- 1 人手不足により、ひとりひとりの労働時間が増えた
- 2 人手としては足りているが、まだまだ未熟なため育成等に時間がかかり、労働時間が増えた

#### <その他の記述>

観光関連においては、労働時間の増は人手不足も一因ではあるが、全国旅行支援のクーポン発行等の業務増により労働時間が大幅に増えたというのが大きな要因という

#### ●『労働時間が減っている』要因

- 1 需要と供給のバランスのために労働時間を減らした
- 2 経費節減のため、ひとりひとりの労働時間を減らしている

#### <その他の記述>

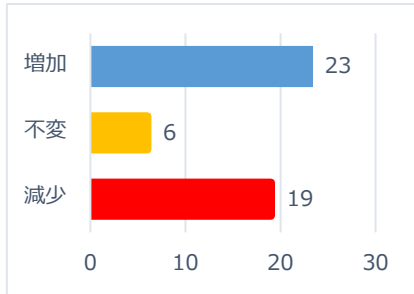
・観光客の入域にバラつきがあり、オフシーズンは人手が余り、繁忙期は人手不足となる

● 【比較対象期間】の各項目の【現在】の状況について

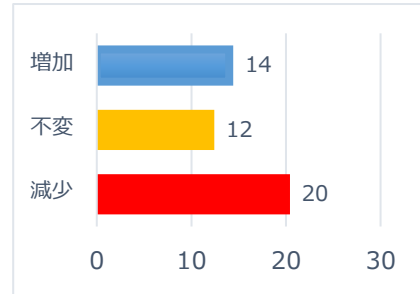
【比較対象期間】下期（令和4年10月～3月）

現在	2022年（令和4年10月～令和5年3月）
前年度	2021年（令和3年10月～令和4年3月）

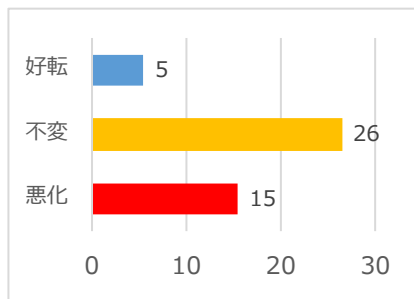
① 売上高



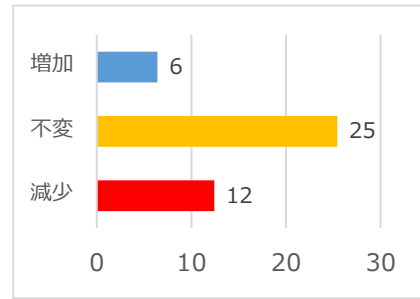
② 採算（粗利）



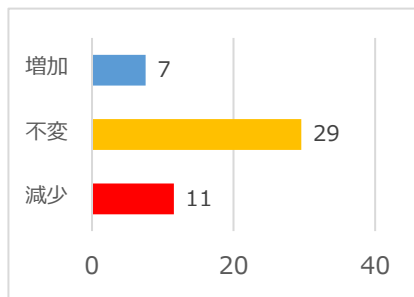
③ 資金繰り



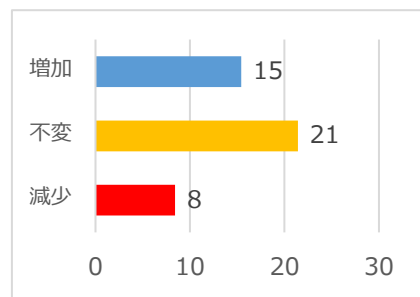
④ 在庫数（製品・商品）



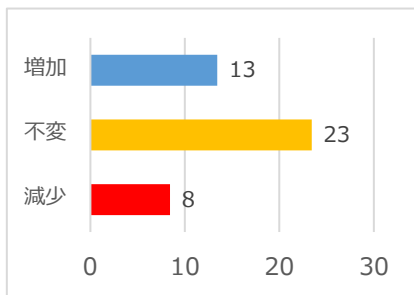
⑤ 従業員数



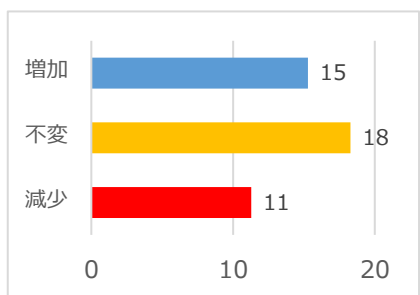
⑥ 受注・製品単価



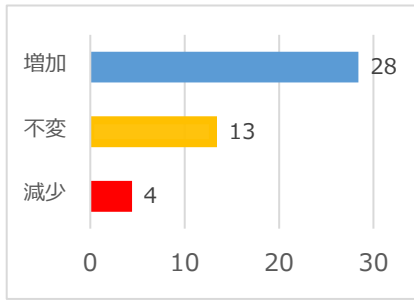
⑦ 客単価



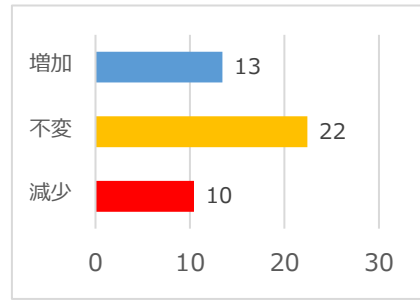
⑧ 客数



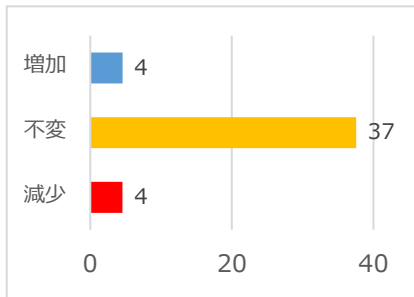
⑨ 経費



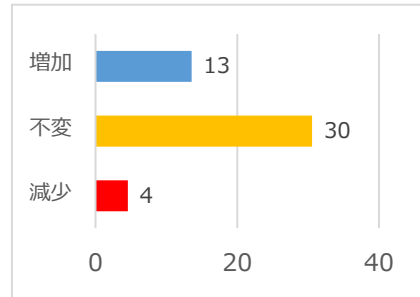
⑩ 仕入状況



⑪ 金融機関の融資状況



⑫ 設備投資



●今期（R4.10月～R5.3月）、主に直面している経営上の問題について（上位3つ）

- 1 売上減少
- 2 利益率低下
- 3 人件費増加
- 4 従業員確保難
- 5 施設等老朽化
- 6 仕入価格上昇
- 7 諸経費増加

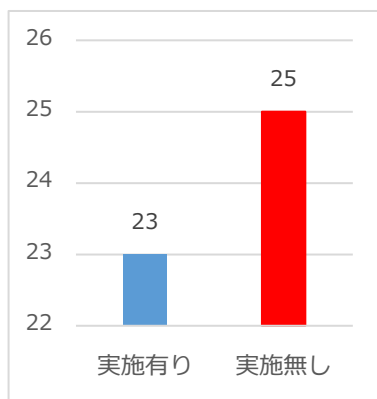
1位	従業員確保難
2位	利益率低下
3位	諸経費増加

：  
仕入価格上昇  
人件費増加・売上減少

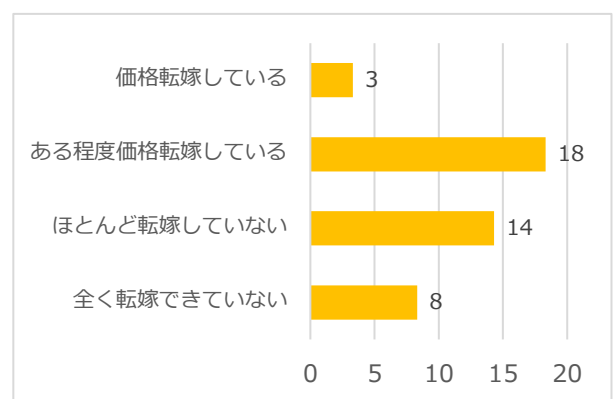
従業員確保難による賃上げ、  
光熱費・燃料費値上げと様々な  
要因により諸経費増加  
また、仕入価格上昇によって、  
売上に対する利益率低下が  
起きている

●原油・原材料価格上昇に対する価格転嫁の実施について

① 価格転嫁実施の有無

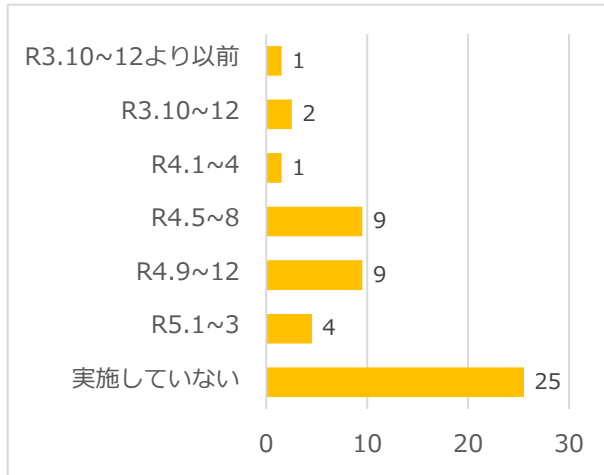


② 価格転嫁の実施状況



## ●価格転嫁の実施時期について

※別紙A参照



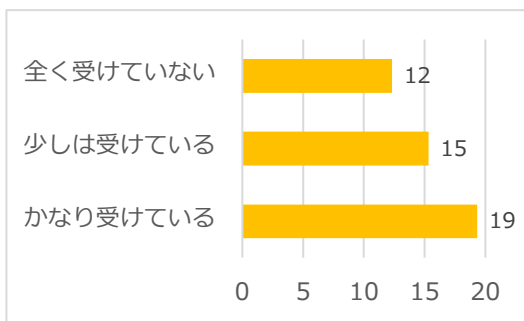
小売業・飲食業・サービス業においては、ほぼ価格転嫁を実施。もしくは今は価格転嫁を実施されていないが、今後実施予定の回答が多く見られる。運輸業においては貨物・旅客ともに価格転嫁が困難の回答。宿泊業は、施設規模により、価格転嫁実施の有無が分かれる。サービス業は業種で実施の有無が分かれる。生活に直接関連している業種や飲食・宿泊施設に関連している業種は価格転嫁を実施しているものの、観光関連の業種では価格転嫁をしたいが困難との回答が見られる。

## ●【価格転嫁をまだしていない事業者の方】 今後、価格転嫁の実施予定について

<多数回答順>

- 1位 価格転嫁をしたいが困難
  - 2位 今後予定している（再度の実施も含む）
  - 3位 影響軽微のため予定なし
- ∴ 転嫁を行わず、当面はコスト削減等の企業努力で対応
- ∴ 既に転嫁しているので予定なし

## ●原材料価格の上昇や供給面での制約による影響について



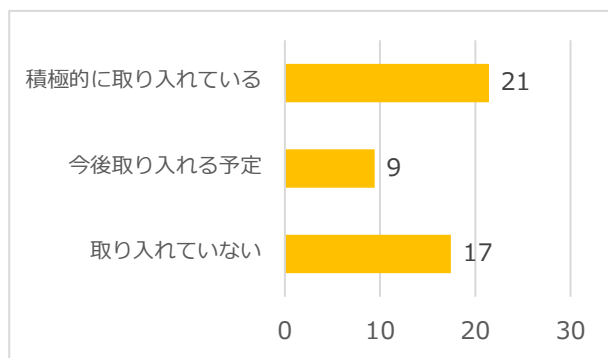
原材料価格の上昇や供給面での制約は、ほぼ全ての業種において、資材高騰や製品等の納入遅延・欠品といった不安定な供給状況によって起こる弊害（遅延による人件費等、または代替品を探すのに要する労働時間など）が出てきている。

## ●原材料価格の上昇や供給面での制約による影響を受けている事業者の声

- ・利益減少 ・石垣牛の仕入れ ・燃料高 ・新車納期の長期化
- ・人件費、燃料費高騰に対して、価格転嫁がスムーズにっていない。
- ・資材、運賃、全てに20%~30%増加して価格転嫁しても間に合わない！
- ・物件等の修繕費の部分で値上がりしている。
- ・設備面の商品価格が高騰 ・燃料費の高騰及び修繕費等の高騰。 ・物価高騰。
- ・原油価格の上昇により、車両の実車空車に関わらず、燃料消費が多ければ多い程、コストがかかる。  
(実車以外でも点検等で空車状態で走行しなければならないこともあるため。)
- ・度重なる仕入額上昇が激しくなってからは、価格転嫁が出来ていないのが現状。ロスをなくすため、メニュー数を減らすなどしている。
- ・仕入金額の高騰による価格改定案内。 ・原材料の高騰。
- ・原材料費が上がっているが、商品の値上げは印象を悪くするので、現状維持している商品もある。
- ・食材費が高騰し続け、先行予約分には価格転嫁ができない為、食事の採算が合わない。
- ・燃料代とレンタル器材、特にウェットスーツの価格アップ。
- ・材料費、送料が上がっているため、他の経費を抑えている。
- ・原材料、特に貴金属の高騰により価格転嫁を実施せざるを得ない。
- ・材料費が上がっているが、販売価格はギリギリでやっている。
- ・毎月の仕入れが高くなってきており、その分仕入れる商品の量を減らしている。
- ・原材料（薬品等）の供給が不安定なものがあり、必要なものが買入できない事がある。
- ・通常在庫が製造中止になったり、納期末定になり、代替品探しが手間取っている。

## ●男女共同参画・女性活躍推進について

① 女性の積極的な採用や役職任用等、事業方針に取り入れていますか？



② 女性の積極的な採用や役職任用等、事業方針に取り入れる理由は何ですか？

1位 人材の確保・定着

2位 働きやすい職場環境の活性化による労働意欲の向上  
持続可能な経営に必要

3位 男女格差の是正  
多様な人材が活躍することにより、経済活動の想像性が  
増し、生産性の向上に繋がる

<その他の記述>

- ・女性ならではの細やかな気配り。／元々女性が多い職場なので。
- ・適材適所。活躍できる職場環境づくりは男女関係なく必要。
- ・女性が取組みやすい職種である。

③ 女性の積極的な採用や役職任用等、事業方針に取り入れない理由は何ですか？

1位 既に女性は活躍しており、現状問題はない。

2位 女性が少数である。／特に理由はない。

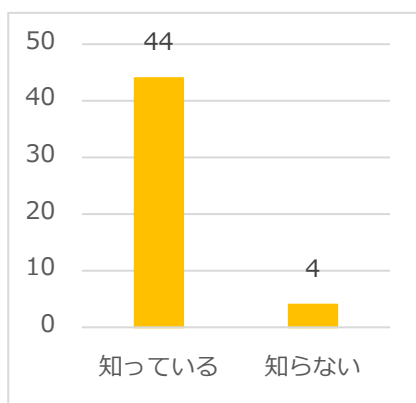
3位 女性の勤続年数が短い。

<その他の記述>

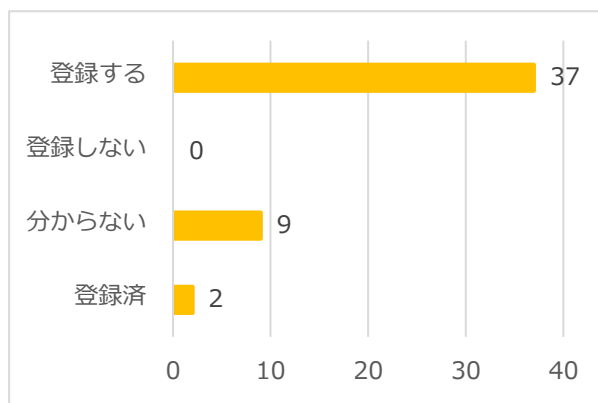
- ・個人事業で現在一人体制なので。
- ・家族経営なので従業員を雇う必要がない。
- ・労力がない。

●インボイス制度（適格請求書等保存方式）の周知について

① インボイス制度を知っていますか



② インボイス制度に登録予定はありますか



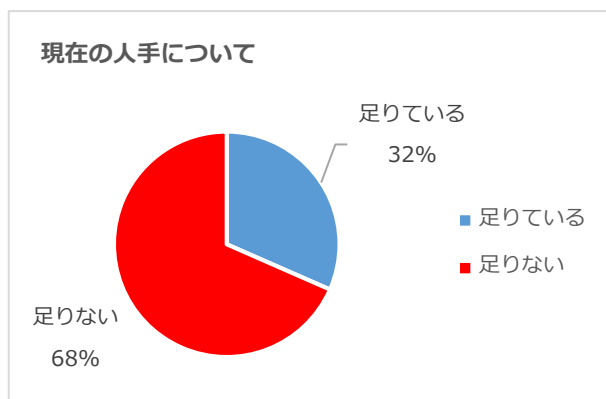
総 評



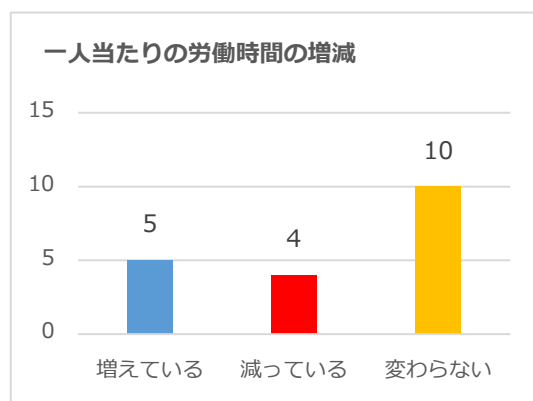
まあまあ

## 調査結果 【工業関連】

### ● 人手について



### ● 労働時間について (一人当たりの労働時間の増減)



一人当たりの労働時間は変わらないの回答が多い中、需要回復による人手不足から労働時間が増えたという状況も見えて来ている。

また、製造業では商品開発のために労働時間が増えたという回答もあり、コロナでの景気落ち込みから脱却を図ろうという意気込みも感じられる。

そういった前向きになりつつあるなか、従業員の高齢化に伴う労働時間の短縮や介護等による休暇や早退の増加などの問題も上がってきている。

#### ● 『労働時間が増えている』要因

- 1 人手不足により、ひとりひとりの労働時間が増えた
- 2 人手としては足りているが、まだまだ未熟なため育成等に時間がかかり、労働時間が増えた

#### <その他の記述>

- ・ 人手不足及び需要回復により労働時間が増えた
- ・ 商品開発のため、労働時間が増えた

#### ● 『労働時間が減っている』要因

- 1 需要と供給のバランスのために労働時間を減らした
- 2 経費節減のため、ひとりひとりの労働時間を減らしている

#### <その他の記述>

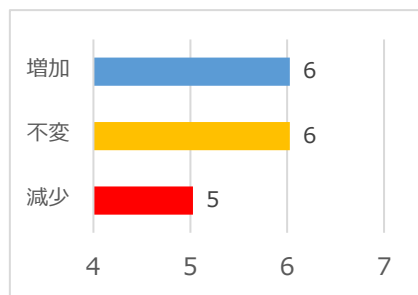
- ・ 製造アルバイトが見つかったため
- ・ 作業の効率化と積極的な休日取得と時間外労働削減の推奨
- ・ 従業員の高齢化に伴い、労働時間の短縮、並びに介護等による休暇・早退の増加

● 【比較対象期間】の各項目の【現在】の状況について

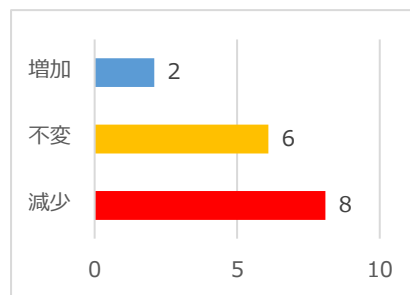
【比較対象期間】下期（令和4年10月～3月）

現在	2022年（令和4年10月～令和5年3月）
前年度	2021年（令和3年10月～令和4年3月）

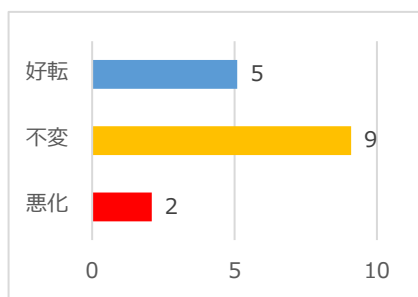
① 売上高



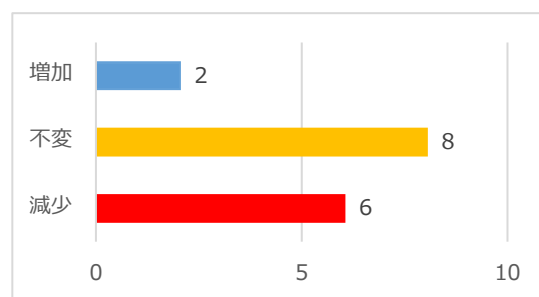
② 採算（粗利）



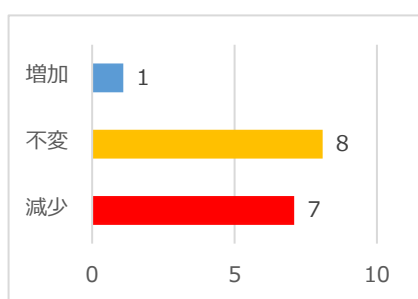
③ 引き合い



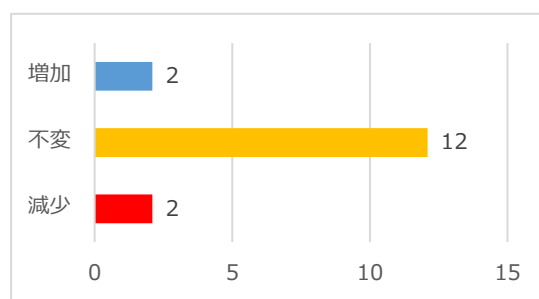
④ 資金繰り



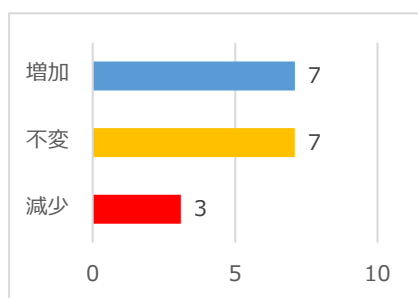
⑤ 従業員数



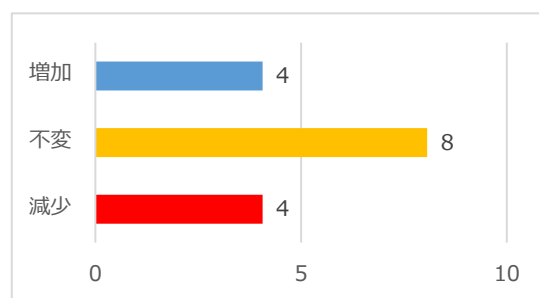
⑥ 在庫数（製品）



⑦ 受注・製品単価



⑧ 設備投資



●今期（R4.10月～R5.3月）、主に直面している経営上の問題について（上位3つ）

- 1 売上減少
- 2 利益率低下
- 3 人件費増加
- 4 従業員確保難
- 5 施設等老朽化
- 6 仕入価格上昇
- 7 諸経費増加

1位	従業員確保難
2位	利益率低下
3位	諸経費増加

：

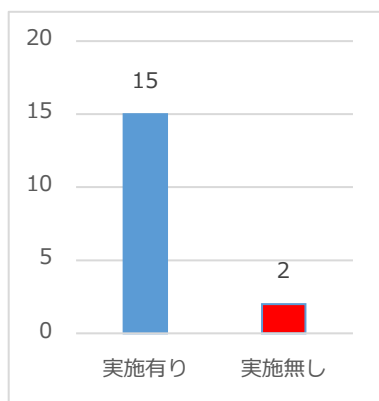
技術者不足  
売上減少  
設備の不足・老朽化

1位の従業員確保難は相変わらず前回の報告と同じ状況。技術者不足や若い人材が確保できないのが現状。

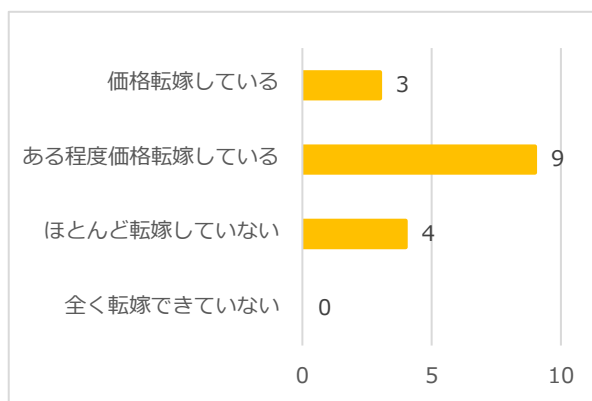
また、売上げは増加傾向にあるものの仕入価格上昇や人件費などの諸経費の増加により、利益率低下が起きている。

●原油・原材料価格上昇に対する価格転嫁の実施について

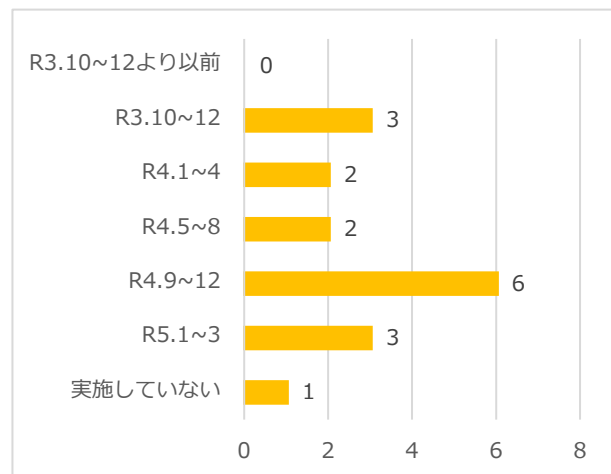
① 価格転嫁実施の有無



② 価格転嫁の実施状況



●価格転嫁の実施時期について



※別紙A参照

卸売業・製造業・建築業ともにほぼ価格転嫁は行われている。ロシア・ウクライナ問題からくる燃料代高騰や資材等の値上げによるものと考えられる。

## ●【価格転嫁をまだしていない事業者の方】 今後、価格転嫁の実施予定について

<多数回答順>

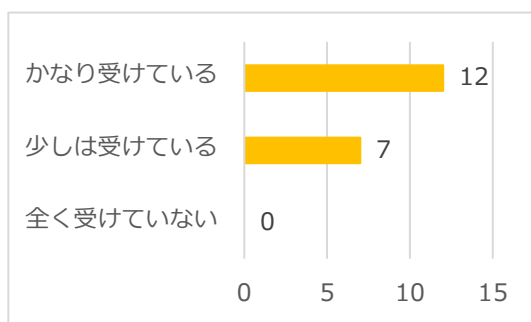
1位 今後予定している（再度の実施も含む）

2位 価格転嫁をしたいが困難

転嫁を行わず、当面はコスト削減等の企業努力で対応

既に転嫁しているので予定なし

## ●原材料価格の上昇や供給面での制約による影響について



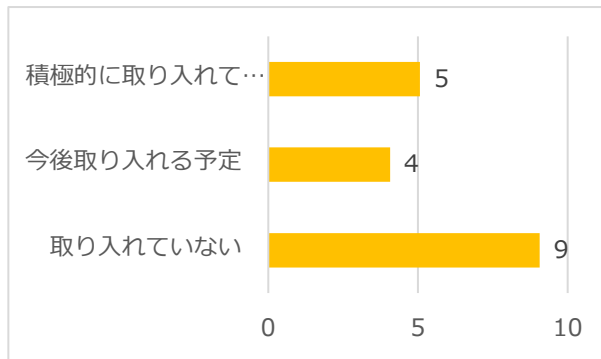
原材料価格の上昇や供給面での制約は、ほぼ全ての業種において、資材高騰や製品等の納入遅延・欠品といった不安定な供給状況によって起こる弊害（遅延による人件費等、または代替品を探すのに要する労働時間など）が出てきている。

## ●原材料価格の上昇や供給面での制約による影響を受けている事業者の声

- ・発注から納品までの期間が長いので、工期が遅れる現場があります。 / 材料費高騰
- ・全ての仕入れが継続して上昇しているため、価格転嫁が間に合わない。 / 仕入が高くなっている。
- ・原材料価格が上昇を続けているので、前回、価格転嫁をした分では追いつかない状況に陥っている。さらに価格転嫁を実施したいが、需要先への理解を得るまでに時間がかかるため、すぐに実施できない状況。
- ・利益率の悪化
- ・仕入れ品が予定通り入荷できず、工事の完成が遅れ、請求できず資金繰りが悪化している。
- ・製品用容器、内地からの輸送費、地元原材料と、ほとんど値上げした。
- ・価格高騰により、材料となる製品が廃番になるケースもあった。
- ・原材料の高騰と配送の遅延。
- ・燃料高による機械作業にかかる費用増加。
- ・卸先が大幅な価格転嫁に対応しきれないため、猶予を求められる。
- ・価格上昇や商品が入荷困難な商品があり、現場に行く回数が増え経費がかかる。
- ・仕入価格の上昇、資材、諸々の上昇。
- ・光熱費（乾燥機）の電気代、すべての消耗品の値上がり。 / 光熱費高騰。
- ・事業の必要経費（仕入額の増額のため）が増え、利益が減少している。

## ●男女共同参画・女性活躍推進について

① 女性の積極的な採用や役職任用等、事業方針に取り入れていますか？



② 女性の積極的な採用や役職任用等、事業方針に取り入れる理由は何ですか？

1位 人材の確保・定着

2位 働きやすい職場環境の活性化による労働意欲の向上

3位 持続可能な経営に必要

多様な人材が活躍することにより、経済活動の想像性が増し、生産性の向上に繋がる

③ 女性の積極的な採用や役職任用等、事業方針に取り入れない理由は何ですか？

1位 既に女性は活躍しており、現状問題はない。

2位 必要性を感じない。

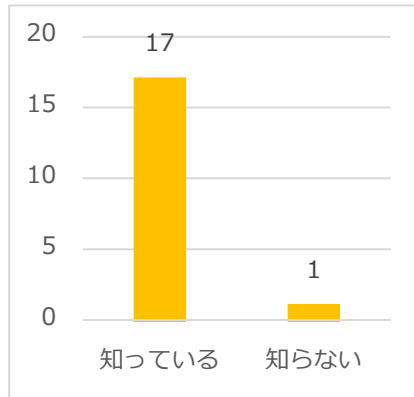
3位 女性が少数である。／特に理由はない。

<その他の記述>

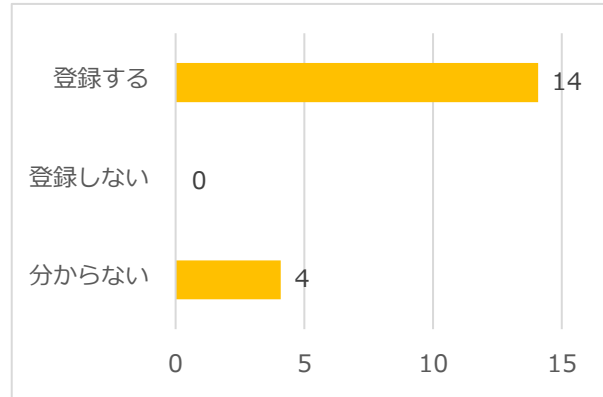
- ・性別は判断基準にならない。
- ・能力があれば、男女とわないので。

●インボイス制度（適格請求書等保存方式）の周知について

① インボイス制度を知っていますか



② インボイス制度に登録予定はありますか



総 評



まあまあ